



the Yoneyama Foundation

2018-19年度

ロータリー米山記念奨学金学校説明会

Rotary



2018年7月5日(木)

千葉市民会館 3F

国際ロータリー第 2790 地区

地区米山記念奨学委員会

⇒推薦状を書く指導教員や学内選考に関わる教員の方にお渡しください

指定校担当者の皆様 および 指導教員の皆様へ

～ご推薦にあたって、ロータリー米山記念奨学金をご理解いただくために～

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となる人材を育て、国際親善と世界平和に寄与したいという日本のロータリークラブ会員の願いから始まった外国人留学生支援です

米山奨学金の最大の特長は、 「世話クラブ・カウンセラー制度」です

様々な職業人や世代の集まりであるロータリークラブの一つが「世話クラブ」となり、会員が「カウンセラー」として奨学生をサポートします。



この奨学金は、日本全国のロータリー会員の寄付が財源となっています

米山奨学生に行っていただくこと＝米山奨学生の義務

- ◇ 月1回以上の例会(ミーティング)出席
- ◇ 年2回の「奨学生レポート」(エッセイ)の提出
- ◇ スピーチの実施と、親睦行事や奉仕活動など地区行事へ参加

学校や研究だけでは得られない幅広い分野の人との交流を通じて、日本文化や日本社会のマナー、国際親善と奉仕の精神を理解していただくことを目的としています。年間を通じて交流行事に参加していただきます。オリエンテーションや奨学期間終了式に指導教員や学校ご担当者にご参加いただくことがあります。



Rotary

学内公募し
ご推薦くだ
さい

経済的に困窮している人や成績優秀者のみ対象の奨学金でもありません

世話クラブを中心とする交流に参加することによって国際親善と奉仕の精神を学んでいただく奨学金であることを応募者と指導教員にもご理解いただくようお願いいたします。合格後、オリエンテーション欠席や時間がとれない等の理由で例会・行事欠席、奨学金を途中辞退したり、当会の「休学」申請を積極的に利用する状況にならないよう、留学・出産・育児・介護・病気・経済的理由などによる長期帰国等の学籍状況をあらかじめ確認のうえ、米山奨学生の義務を果たせる方をご推薦ください。(出産・育児・介護等に該当する方も、意欲的に参加可能な方は是非ご応募ください)

終了後も、元奨学生たちは「米山出身者」の絆を大切にしながら同窓会を通じて社会奉仕活動をしたり、個人として母国の社会や教育の発展に携わったり、駐日大使として「懸け橋」の役割を果たすなど、世界で活躍しています。その模様は下記サイトで紹介しています。



<https://www.youtube.com/user/RotaryYoneyamaMF>



<https://www.facebook.com/RotaryYoneyamaMemorialFoudation>

ロータリアンがくれたのは、奨学金だけではない。友情だけでもない。一番大切な、人生の生き方を教えてくれました。
(1995-97 奨学生／中国)

帰国後も世話クラブの皆様が続けて応援してくださり感謝しています。母国と日本の懸け橋として活躍する事が自分の責任だと常に思っており後輩の支援を続けています。
(2013-14 奨学生／ベトナム)



第2790地区 ロータリー米山記念奨学金 学校説明会



国際ロータリー第2790地区
米山記念奨学委員会



- 3 -

地区役員紹介並びにご挨拶

委員長 富 一美



開会の辞

本日の趣旨説明、資料確認

副委員長・選考担当 石田 善一



地区役員・地区委員紹介

- | | |
|------------|---------------------------|
| ◎第2790地区 | ガバナー 橋岡 久太郎 様 |
| ◎第2790地区 | ガバナーエレクト 諸岡 靖彦 様 |
| ◎公益財団法人 | ロータリー米山記念奨学会理事 PG増田 裕 様 |
| ◎公益財団法人 | ロータリー米山記念奨学会評議員 PG 得居 仁 様 |
| ◎米山記念奨学委員会 | 委員長 富 一 美 (成田空港南RC) |
| | 副委員長 石田 善一 (市川南RC) |
| | 副委員長 川名 光俊 (館山RC) |
| | 委員 生形健一 |
| | 委員 佐藤 廣子 |
| | 委員 加藤 隆 |
| | 委員 斎藤 博昭 |
| | 委員 鈴木 莊一 |
| | 委員 土屋 加紀 |
| | 委員 |



地区役員ご挨拶

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 橋岡久太郎 様

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
理事 PG 増田 裕 様

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
評議員 PG得居 仁 様



- ・ロータリーについて
- ・米山奨学事業について
- ・他奨学金との違い、事業の目的について
- ・奨学生選考の基準について
- ・指定校の選定と奨学生選考、注意点について
- ・奨学生の義務について

地区米山記念奨学委員長 富 一 美
副委員長・選考担当 石田 善一



- 4 -

ロータリーとは？

職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりです。それが世界に拡大するにつれて幅広い奉仕活動を求められるようになり、世界平和につながるよう多方面にわたって多大な貢献をしています。

1905年 シカゴに世界で最初のロータリークラブが誕生

1920年 日本初 東京ロータリークラブ創立

世界のロータリークラブ 200以上の国・地域、会員数約122万人

日本のロータリークラブ 2,273クラブ、会員数約9万人

ロータリー会員は何をするの？

誰かの
ために！

ロータリーの目的は、奉仕の理念を実践し

国際理解、親善、平和を推進することです

所属ロータリークラブを通じて寄付をします

奉仕活動として、国内外・対象・分野を問わず、多様な支援活動や社会貢献活動をしています

例えば

国内【地域密着】：

職場体験、地域イベント、被災地支援、歩道や海岸等の清掃活動など

海外【国際協力】：

医療や医療機器の支援、ワクチン提供、学校建設、井戸の寄贈など

米山奨学財団設立50周年記念ビデオ

ロータリー米山記念奨学金とは？

日本
だけ!

ロータリー会員の奉仕活動としての奨学事業

1952年 事業構想(東京ロータリークラブ)
全国のロータリークラブの共同事業として広まる
1967年 財団法人となる
2012年 公益財団法人へ移行

ロータリーが目指す国際理解と
親善、世界平和に寄与する事業
であること



設立から一貫して、外国人留学生を支援しています

ロータリー米山記念奨学金の特長

日本全国のロータリークラブ会員の寄付が財源

事業規模は国内民間の留学生奨学団体で最大

給付型
奨学金

累計20,398名、127の国・地域の留学生を支援

世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生を、世話クラブ＋カウンセラー＋地区米山奨学委員会がサポート

設立から一貫して外国人留学生を支援

ロータリー米山記念奨学生に期待されること

ロータリークラブを通じて日本の文化、習慣に触れる

交流を通じて国際親善・奉仕の精神を学ぶ

将来、日本と母国・世界を結ぶ「懸け橋」になる



指定校応募について

- ・地区が指定する学校経由の応募(個人応募不可)
- ・年間約850名(継続を除く新規:約600名)

奨学金の種類	月額	期間
1 学部課程	¥100,000	最長2年
2 修士・博士課程	¥140,000	
3 地区奨励 (高専等)	¥70,000 または¥100,000	1年間 または最長2年

・詳細は、募集要項(8月初旬公表)をご確認ください

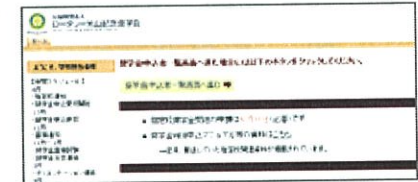
※海外応募者対象奨学金は、米山奨学会へお問い合わせください。

指定校通知について

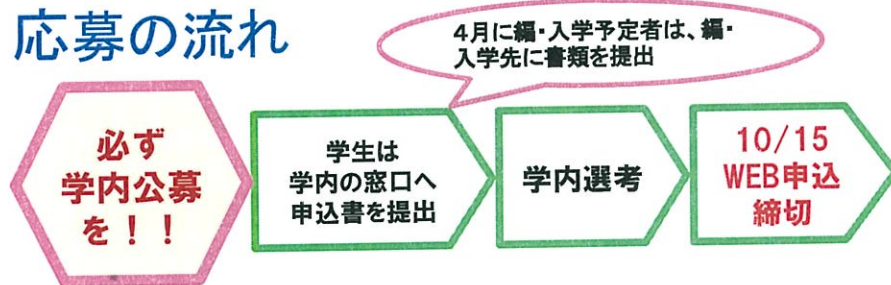


- 奨学会からメールで指定校決定と申込方法(担当者専用WEB画面で申込)をご案内します(8月初旬)
- 専用WEB画面内に「募集数」「地区選考の目安」「WEB申込マニュアル」「担当者留意事項」を掲載します

WEB申込方法について
のお問い合わせは
奨学会へ



応募の流れ



- 特定の教員・研究室・専攻に偏らないよう公募してください
- 推薦状は、指導教員もしくはこれに準ずる教員のもの
- 学生は、奨学会所定の申込書類に「日本語、自筆で手書き」
- 指定校担当者は、専用WEB画面で申込登録してください

合格後、奨学生一人ひとりの世話クラブとカウンセラーを選定・決定し、受入れ準備が完了した段階で辞退が発生するのを極力避けるため、国費等を含む他財団奨学金を優先希望する場合、なるべく米山奨学金との併願にならないようご理解をお願いします

選考から合否決定まで【地区ごとに実施】



- 申込書を提出した全員に面接を受けていただきます
- 面接への遅刻、無断欠席がないよう徹底してください
- 担当者専用WEB画面で、決定地区順に合否を確認できます

当地区の面接日は **1月10日(土)** です

合格通知
は1月中旬
郵送

応募者全員
に面接の案内

指導教員以外の推薦状は
受け付けていないが、
指導教員が決まっている場合は
これに準ずる教員でも可。

申込書の郵送
なし

選考の目安:2790地区の場合

地区選考の目安は、選考において重視する採点ポイントです

当地区の募集人数:新規19名

- ① 日本語で意思疎通の出来る学生及び学力が認められる学生（協調性・コミュニケーション力を重視します）面接は日本語のみで行います。
- ② ロータリー活動に関心を持ち積極的に参加するとともに将来は母国と日本の親善を深めようとする 使命感がある事。
- ③ 複数の被推薦者がいる場合は一カ国の国籍割合を50%以内とする。
- ④ できる限り最終学年を優先し、複数の被推薦者がいる場合は学部生の割合を50%以内とする。

選考の目安:2790地区の場合

地区選考の目安は、選考において重視する採点ポイントです

当地区の募集人数:新規19名

- ⑤ 他奨学金と異なり、奨学期間中は世話ロータリークラブの活動に積極的参加して頂く旨を本人及び担当教授に理解を頂き、月一回は世話クラブへの例会出席する必要があるため、可能な方の推薦を願う。
指導教員に伝えておく
- ⑥ 6カ月の奨学期間は短くロータリーとの接する機会が短いため、原則採用しない。
- ⑦ 出来る限り多くの国からの奨学生を採用する為に、全体で採用学生の1カ国国籍割合を30%としていますので、学内選考において国籍が偏ると不利になります。
- ⑧ 奨学期間2年の奨学生は全体の30%とします。
*内:ガビル
4バート等
の自治体は中国とではカウントしない*

評価項目:全国統一の選考基準

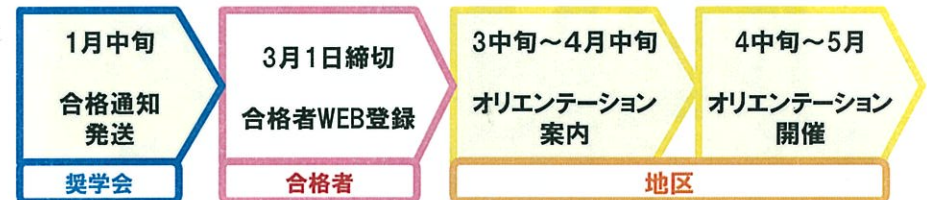
書類

申込書:書類から伺える人柄
指導教員の推薦状:推薦の意義や熱意
研究計画書:研究の貢献度や社会に与える影響
小論文:留学目的・熱意・将来性

面接

- ① 日本留学の目的と明確な研究課題、将来目標
- ② 交流と親善への熱意、ロータリーへの関心度
- ③ 人柄
- ④ コミュニケーション能力 ≠ 日本語力
- ⑤ 地区裁量の選考基準 = 地区選考の目安

合格・オリエンテーション開催まで



- 合格通知と「奨学生ハンドブック」を奨学会から学校あてに郵送
- オリエンテーションには、
・合格者は出席必須です（確約書に署名して正式に奨学生となります）
・「奨学生ハンドブック」を持参してください
・指導教員／学校担当者の出席をお願いすることがあります

面接時に日本語で話すことが難しかった場合、オリエンテーションまでに日本語で自己紹介できるよう準備しておくことが望ましいです

オリエンテーションは出席必須！

米山奨学生の義務

奨学生の義務は
合格後オリエンテーション
で説明されます

4月～5月
オリエンテーション出席
確約書に署名

世話クラブ例会出席
・奨学金の受領
・毎月1回以上の出席

世話クラブや地区の
行事へ参加
スピーチ



2月～3月
期間終了式 参加



奨学生は、採用地区
に所属し、世話クラブ
のサポートを受けます

9月・2月
奨学生レポート提出

・休学や出国には届が
必要
・休学・出国期間に
制限あり

地区行事とは？

地区大会・研修旅行や親睦会
見学会・地域交流・ボラン
ティアなど、年間に色々な行事
が予定されています



2790地区 年間スケジュール 【2018学年度参考】

4月14日(土)奨学生・カウンセラー・指導教員オリエンテーション
4月29日(日)地区研修・協議会
5月26日(土)第1回奨学生研修会
6月 9日(土)第2回奨学生研修会
7月 5日(木)学校説明会(指定校大学説明会)
7月21日(土)奨学生・カウンセラー研修会
8月25日(土)クラブ米山委員長セミナー・ホームカミング実施
※9月以降⇒各クラブ依頼の米山卓話訪問(9月～翌年2月位まで)
9月 1日(土)米山学友会並びにローターアクト共催バーベキュー大会
10月14日(日)～15日(月)米山梅吉記念館探訪研修旅行
10月 日()面接官オリエンテーション
10月27日(土)～28(日)地区大会 米山の集い・ホームカミング実施
12月 1日(土)米山学友会並びにローターアクト共催忘年会
2019年
1月12日(土)新規奨学生筆記面接試験実施
1月13日(日)合否判定会(チーム全員参加)
1月13日(日)奨学生・カウンセラー・学友会新年会
3月 9日(土)2018年度終了奨学生 終了式・歓送会

必ず参加する行事

例会は交流の基本

世話クラブ例会への出席は、
相互理解と交流の基本として位置づけています

- ・毎月1回以上の出席を義務としています。(奨学金の手渡し)
- ・例会では、学校や研究だけでは得られない幅広い分野の人に出会い、交流するチャンスがあります。
- ・日本の文化や習慣、マナーを体験する場となります。
- ・多様な考え方に接し、新しい経験ができるよう、興味や意欲をもって積極的に参加してください。

米山奨学生には、奨学金終了後も交流を続けることが
期待されています。

応募者ご推薦の注意

合格してからのミスマッチを防ぐためにも、

- ・全国のロータリー会員の寄付金によって支援される奨学金であること
- ・毎月1回以上の世話クラブ例会や地区行事など年間を通じて参加義務を伴う奨学金であること

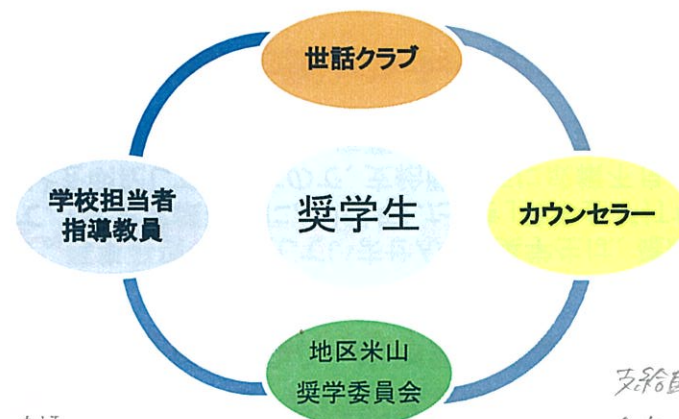
応募者と指導教員ともに、よくご理解いただき
ご推薦くださいますようお願いいたします。

以下の5つに

あてはまる方の推薦はぜひお願いいたします。

- ① 4月・5月のオリエンテーションに参加できない方
- ② 長期の留学・調査等によりオリエンテーションに参加できない方
- ③ 奨学金支給はしたいが、オリエンテーションには参加できない方
- ④ 学業不振・単位不足により留年のおそれがある方

指導教員・学校担当者のみなさまの
ご理解とご協力をお願いします



支給期間

0.5・1.5は7年間(2011)

4月入学～1年間の支給(原則)

奨学期間終了後は⇒ 学友

母国と日本の懸け橋として

専門性を生かして

ロータリー会員として

奨学金を支える寄付者として

学友会(元奨学生と同窓会組織)

学友同士のネットワーク作り、総会開催、交流イベント、海岸清掃、被災地支援、福祉施設訪問、奨学金支給等多様な活動をしています

国内：33

海外：9

台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー



よくある質問

Q1 同じ大学ならば、指定校でないキャンパスの在籍者が、指定校になった他地区に応募できますか？

A:

地区ごとに募集するため、応募できません。

※キャンパスが所在する地区以外の地区が、「地区を越える指定」をした場合のみ、他地区・他県へ応募可能です。

申込時は指定校キャンパスに在籍していないが、進級・進学により、奨学金支給年4月に指定校キャンパスが通学キャンパスに変わる人も、「地区を越える指定」の場合のみ応募可能です。

Q2 編・入学予定者は、どこに応募書類を出すのですか？

A:

4月の進学／編入予定校に応募書類を提出してください。この場合、該当校が指定校になっていることが条件です。

よくある質問

Q3 応募者の国籍が1カ国に偏ると不利ですか？

A:

倍率が高くなる点で不利といえます。偏らないよう推薦をお願いする理由は、幅広い国・地域の学生を採用したいからです。

Q4 成績表は提出しなくても大丈夫なのですか？

A:

前年度または提出可能な最近の、日本における成績表は要提出。年間の途中で発行されない／海外から入学予定で提出できない場合は、不要。提出有無が評価を左右することはありません。

Q5 短大は指定校にならないのですか？

A:

地区奨励奨学金の対象として指定された場合、指定校となります。

よくある質問

Q9 留年しても応募できるのですか？

A:

できます。募集要項で制限していませんが、奨学生は、確約書において、「学業成績不良により留年したとき」奨学金が打ち切られることを明記していますので、支給開始年に成績不良・単位不足により留年予定の場合、応募は望ましくありません。

Q10 奨学金はいつから支給開始ですか？

A:

4月入学・秋入学ともに合格者全員が、4月に支給開始です。ただし、奨学期間終了月は、入学月によって異なり、卒業月よりも早く終了する場合があります。(例:9月入学者は8月終了)

よくある質問

Q6 募集数を超えて応募できますか？

A: できません。募集数以内でご応募ください。

Q7 “書類選考”に合格したら面接を受けるのですか？

A:

無資格以外の全申込者に面接を受けていただきます。面接前に書類選考のみによって合否通知をすることはありません。面接後に総合評価で合否決定します。

Q8 不合格の場合、翌年に再応募できますか？

A: 不合格の場合は、何度でも再応募可能です。

よくある質問

Q11 在留資格「留学」以外でも合格するのですか？

A:

「留学」「難民」以外の在留資格者も、申込可能かつ合格(仮)する可能性があります。ただし、合格後3/25迄に在留資格を「留学」「難民」(地区奨励は、加えて「研修」「文化活動」)いずれかに変更し、在留カードを再提出することで正式に合格します。

※変更完了まで「条件つき合格」。変更完了しない時は無資格により不合格

Q12 奨学期間中に長期の留学・帰国等の出国は可能？

A:

奨学会に「休学届」を提出することで最長6カ月まで認められます。この間、奨学金の支給は停止されます。6カ月を超える場合は、「休学」する前月をもって奨学期間は終了となり、以降の奨学金支給を辞退する「辞退届」の提出が必要となります。

本日は、お越しいただきまして
ありがとうございました

毎年5月の学校アンケートにご協力
いただき、ありがとうございます

たくさんのご応募をお待ちしています

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
第2790地区 米山記念奨学委員会



お知らせ

台湾で学ぶ
日本人のための奨学金
日本人若手研究者対象奨学金

台湾学友会(台湾出身の米山奨学生の同窓会組織)は、
毎年、日本から台湾へ留学予定または台湾で学ぶ日本
人留学生に対して奨学金を支給しています。
該当の方がいらっしゃいましたら、ご案内ください。

募集締切:2018年6月30日

支給期間:2018年9月~2019年8月(12カ月間)

採用数:4名

可否発表:2018年8月初旬予定

応募詳細:奨学会ホームページをご覧ください

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/taiwan-scholarship>

お問い合わせは
奨学会へ

お知らせ



~海外応募者対象奨学金の募集~

申込時点で日本国外に在住し、2019年4月または秋に
日本の大学/大学院に入学予定の私費外国人留学生が
対象です。入学予定/決定者で希望者がいらっしゃいまし
たら、ご案内ください。

募集期間:4月・秋入学ともに 2018年7月中旬~2018年12月15日

支給期間:2年間

採用数:15名予定

可否発表:2019年2月中旬予定

応募詳細:奨学会ホームページをご覧ください

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/overseas> (8月に募集案内を更新)

お問い合わせは
奨学会へ

質疑応答

説明会終了後もご質問にはお答え致します

副委員長・選考担当 石田 善一



謝 辞

2017-18年度ガバナーエレクト 諸岡 靖彦 様



閉会の辞

副委員長・選考担当 川名 光俊

